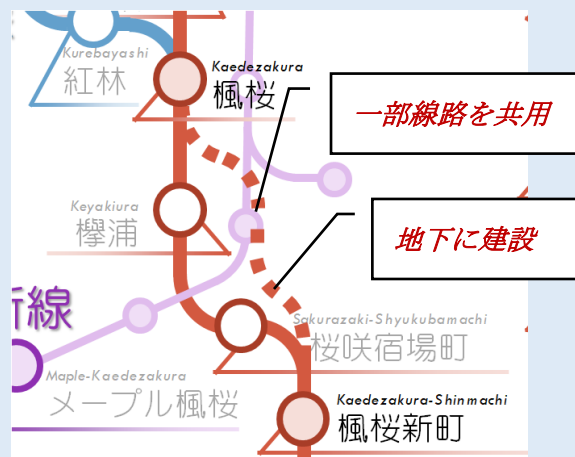


楓桜本線南直通線事業計画

1 事業の概要

楓桜本線南直通線の計画は、本線の複々線計画の代替線として、楓桜本線楓桜新町駅から楓桜新線水上商店街駅を經由し、楓桜本線楓桜駅付近までの区間に地下連絡線を建設するものです。

この楓桜本線南直通線の整備により、楓桜以南の本数の増発及び楓桜地区と隣街の地域間の速達性が向上し、さらなる鉄道ネットワークの形成と機能の高度化が図られるとともに、楓桜本線等の既設路線の優等列車の待ち合わせ時分の短縮や、踏切の遮断時間短縮の他、地域の活性化等に寄与するものです。



2 完成後の効果

2-1. 所要時間が短縮されます。

楓桜本線南直通線は同線を運行する新種別が設定される予定で所要時間が短縮されます。

楓桜駅→隣街(空港城下)

現行 急行 2時間 07分



開業後 特急 1時間 43分 約 24分短縮

現行 快速 2時間 36分



開業後 快速 2時間 21分 約 15分短縮



「特急」に投入予定のX-1

※楓桜新線の水上商店街駅は通過駅としています。これに関する混乱を避けるために楓桜本線南直通線は優等種別のみが運行します。

2-2. 本数を増発し、新しい輸送体系を作ります。

楓桜本線南直通線に優等種別（特急、通勤快速、快速）を移行することで本線に許容が生まれます。これを機に朝夕ラッシュ時を中心に普通列車を増発します。

既設の楓桜本線と開業後の楓桜本線南直通線を合わせることで、楓桜新町駅～楓桜駅間で実質複々線となり新しい輸送体系に移行します。

※ 「急行」については楓桜駅でのホームの関係上、引き続き楓桜本線を利用します。

2-3. 踏切の遮断時間が短縮されます。

現在の楓桜本線では線路容量に対して列車本数が過多になっており、一部列車が駅前で停車し時間調整を行っているため、踏切が長時間遮断している状態の時間帯があります。

開業後の日中時間帯の本数増発は見送り、踏切遮断による地域の分断を改善します。



現在の櫛浦駅付近

3 完成の見通し

早期開業を目指して工事を進めておりますが、桜咲地域は「緑化実験都市」として整備を進めている関係で、大規模な開発が制限されています。そのため、本社と行政と現場で調整をしながら進めています。現在のところ各駅の改良工事がおおむね終了し、路線自体の工事とそれにかかわる電気(架線)の工事を行っています。また、異常時に備え、楓桜本線全列車の直通線への受け入れと、線内で折り返しができるように楓桜新町駅の南側の改良工事を進めています。

完成後の本格的な運行開始は来年度以降を予定しております。



※開業の時期、内容は余儀なく変更する場合があります。

2017年12月19日
桜咲紅葉鉄道株式会社